

## 第四次宮崎県環境基本計画

### 令和 6 年度の取組状況

1	第四次宮崎県環境基本計画の概要	・・・	1
2	施策体系	・・・	1 ~ 2
3	令和 6 年度の取組状況	・・・	3 ~ 31



# 1 第四次宮崎県環境基本計画の概要

## 【計画期間】

令和3年度から令和12年度までの10か年の計画

## 【対象とする環境】

- 森林、河川、海、動物、植物等の多様な自然環境
- 大気、水、土壤、騒音・振動、化学物質、廃棄物等の生活環境
- 景観や文化財、自然とのふれあい等の快適環境
- 地球規模での大気の組成や気候等の地球環境

## 【長期的な目標】

ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき

## 【環境分野別の施策の展開】

- (1) 脱炭素社会の構築
- (2) 循環型社会の形成
- (3) 地球環境、大気・水環境等の保全
- (4) 生物多様性の保全
- (5) 環境保全のために行動する人づくり
- (6) 環境と調和した地域・社会づくり

# 2 施策体系

環境分野別の施策	施策の基本方向	施策の展開内容
I 脱炭素社会の構築	1 温室効果ガス排出削減	(1) 家庭部門における排出削減対策の推進
		(2) 産業・業務部門における排出削減対策の推進
		(3) 運輸部門における排出削減対策の推進
		(4) 二酸化炭素以外の温室効果ガス排出削減の推進
	2 再生可能エネルギー等の導入促進	(1) 地域と共生した再生可能エネルギーの導入促進
		(2) 再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決
	3 二酸化炭素吸収源対策	(3) クリーンエネルギー産業の振興・脱炭素化技術等への研究開発支援
II 循環型社会の形成	4 気候変動への適応	(1) 吸收源としての森林等の整備
		(2) 二酸化炭素固定化のための木材利用促進
		(3) 都市緑化の推進等その他の吸収源対策
		(1) 気候変動の影響による情報の収集・共有等
		(2) 農林水産業分野における適応策
		(3) 水環境・水資源分野における適応策
		(4) 自然生態系分野における適応策 (5) 自然災害・沿岸域分野における適応策 (6) 健康分野における適応策 (7) 経済活動・県民生活分野における適応策
II 循環型社会の形成	1 4Rの推進	(1) 4Rの普及啓発 (2) 廃棄物の発生抑制・減量化の推進 (3) リサイクル・再生資源化の推進 (4) 地域資源の有効活用の促進 (5) プラスチック資源循環に向けた取組
		(1) 廃棄物の適正処理の推進 (2) 不法投棄等の防止 (3) 災害廃棄物の処理
		(1) 食品ロスの実態調査及び調査・研究の推進 (2) 食品ロスに関する教育及び学習の振興、普及啓発等 (3) 食品関連事業者等の取組に対する支援 (4) 食品ロス削減に関する情報の収集及び提供 (5) 未利用食品を提供するための活動の支援等

分野別の施策	施策の基本方向	施策の展開内容
II 循環型社会の形成	4 環境にやさしい製品の利用促進	(1) 積極的な木材利用の推進 (2) 県内の公共事業における木造化・木質化の推進 (3) グリーン購入の推進 (4) 環境にやさしい製品の需要拡大に対する支援
III 地球環境、大気・水環境等の保全	1 地球環境、大気環境の保全	(1) 大気汚染防止対策の推進 (2) 有害大気汚染物質等の対策の推進 (3) 騒音・振動・悪臭対策の推進 (4) 地球環境の保全
	2 水環境の保全	(1) 水質汚濁防止対策の推進 (2) 生活排水対策の推進 (3) 河川浄化等の県民活動の推進 (4) 都城盆地硝酸性窒素削減対策の推進 (5) 一ツ瀬川及び小丸川の濁水軽減等対策の推進 (6) 土壌汚染対策の推進 (7) 水系別の総合的な水環境保全のための連携
	3 化学物質対策	(1) 化学物質の環境調査の継続的実施 (2) 事業者の監視・指導体制の強化 (3) 化学物質に関する情報の把握と情報交換(リスクコミュニケーション)の推進
	4 環境負荷の低減等	(1) 環境影響評価 (2) 公害健康被害対策
IV 生物多様性の保全	1 生物多様性の確保	(1) 野生生物の適切な保護管理 (2) 重要地域の保全 (3) 県土の区分に応じた生物多様性の保全 (4) 生物多様性の主流化の推進
	2 多面的機能を持続的に發揮する豊かな森林づくり	(1) 健全で多様な森林づくり (2) 適正な森林管理の推進 (3) 資源循環型の森林づくりの推進
	3 自然豊かな水辺の保全と創出	(1) 自然環境に配慮した河川づくりの推進 (2) 自然環境に配慮した海岸づくりの推進 (3) 水域の生物の保全 (4) ため池・ダム貯水池の保全と適切な管理
	4 自然とのふれあいや配慮	(1) 自然とのふれあいの場や機会の確保 (2) 自然環境教育・学習の充実 (3) 自然とのふれあいの場の整備における自然環境への配慮 (4) 自然とのふれあい活動における自然環境への配慮
V 環境保全のために行動する人づくり	1 環境教育の推進	(1) 家庭、学校、地域等における環境教育の推進 (2) 環境教育に関する情報の提供 (3) 環境教育を担う人材の養成・確保 (4) 環境教育拠点の整備、機能充実 (5) 森林環境教育の推進
	2 環境保全活動の推進	(1) 各主体が自発的に行う環境保全活動の支援 (2) 多様な主体が相互に協力して行う協働取組の推進
VI 環境と調和した地域・社会づくり	1 環境にやさしい地域・産業づくり	(1) 魅力ある農山漁村等づくり (2) 健全な水循環の確保 (3) 環境とともに歩む循環型農林水産業の推進 (4) 本県の地域特性を生かした体験・交流型観光の推進 (5) 環境ビジネスの創出・育成
	2 快適な生活空間の創出	(1) うるおいとやすらぎある美しい景観・環境づくり (2) 本県の自然と一体となった歴史的・文化的資源の保存・活用 (3) 環境と調和した生活空間づくり

### 3 令和6年度の取組状況



# 第四次宮崎県環境基本計画 令和6年度の取組状況

## I 脱炭素社会の構築

再生可能エネルギーの利活用や省エネへの取組がなされ、温室効果ガス排出量が減少とともに、森林の適正管理により二酸化炭素吸収量が確保され、2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）社会の実現を目指して施策を展開した。

### 1 温室効果ガス排出削減

#### (1) 家庭部門における排出削減対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 住宅の太陽光発電設備や省エネ設備の導入等を支援することにより、2050年ゼロカーボン社会の実現に向けた温室効果ガス排出削減を図った。	補助件数： 太陽光発電設備 202件 蓄電池 191件 高効率給湯器 11件 断熱改修 1件	ひなたゼロカーボン加速化事業	
② 「環境みやざき推進協議会」と連携し、啓発紙「ecoみやざき」の配布等により、省エネの普及啓発を図った。	発行：年4回 配布：各1,500部（電子媒体含む） ホームページ「みやざきの環境」に掲載 新聞広告に掲載	多様な主体による環境実践行動推進事業	環境森林課
③ 「地球温暖化防止活動推進センター」を中心として「地球温暖化防止活動推進員」と連携し、県民や事業者に対し省エネの普及啓発を図った。	推進員による普及啓発活動：3回	デコ活推進事業	
④ 省エネ・省資源など地球環境にやさしい活動に取り組む県民を支援する九州7県公式の環境アプリ「九州エコファミリー応援アプリ」を配信し、家庭での省エネ活動の促進を図った。	ダウンロード数：1,678		
⑤ 2050年ゼロカーボンの達成に向けて、県民や事業者の機運醸成や行動変容を促すため、県民参加型イベントの開催や行動ブックの作成などのプロモーションを展開した。	県民参加型イベントの開催（4回） 行動ブック（県民向け、事業者向け）作成、配布	2050年ゼロカーボン社会づくりプロモーション事業	

#### (2) 産業・業務部門における排出削減対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 「地球温暖化防止活動推進センター」を中心として、事業者に対し、地球温暖化対策の普及啓発を図るとともに、職場や家庭等で行う省エネ活動をサポートするための人材育成を行った。	推進員向け研修会の開催：4回	デコ活推進事業	
② 2050年ゼロカーボンの達成に向けて、県民や事業者の機運醸成や行動変容を促すため、県民参加型イベントの開催や行動ブックの作成などのプロモーションを展開した。	県民参加型イベントの開催（4回） 行動ブック（県民向け、事業者向け）作成、配布 [再掲]	2050年ゼロカーボン社会づくりプロモーション事業	
③ 事業所等の太陽光発電設備や省エネ設備の導入等を支援することにより、2050年ゼロカーボン社会の実現に向けた温室効果ガス排出削減を図った。	補助件数： 太陽光発電設備 34件 蓄電池 16件 高効率給湯器 4件 空調 83件 LED 57件 冷凍・冷蔵庫 24件 EV 1件 V2H 2件	ひなたゼロカーボン加速化事業 県内事業者省エネ対策推進事業	環境森林課
④ 専門講師を招いての事業者向け再エネや省エネに関するセミナーの開催等により、事業者の脱炭素化への取組を促進するとともに、積極的な取組を実施した事業者を表彰し、広く県民にPRした。	セミナー開催：3回 現地見学会：1回 表彰：1事業者	脱炭素対策普及促進事業	
⑤ 県内事業者の温室効果ガス排出量を可視化するとともに、エネルギー転換などの取組を支援することにより、事業活動における排出量の削減を図った。	温室効果ガスの可視化支援：66社 伴走支援：20社	脱炭素経営支援事業	
⑥ 県庁舎において再エネ導入等を実施した。	太陽光発電設備： パーソルアカペーク宮崎、都城総合庁舎、宮崎県教育研修センター、県立日南病院	県有施設脱炭素関連設備導入事業	

⑦ 減化学肥料・農薬、温室効果ガス削減技術の実証、宮崎方式 I C M 指標の拡充を推進した。	実証試験の実施：4地区 (減化学肥料・農薬技術の実証)	持続可能なみやざきグリーン農業構築事業	農業普及技術課
⑧ 宮崎方式 I C M 技術、温室効果ガス削減技術の指導体制の整備、農薬の適正使用に向けた取組支援を実施した。	残留農薬分析の実施件数：1,077件		
⑨ 有機農業の取組、技術指導者育成及び推進体制の構築を支援した。	有機農業を推進する取組：5市町 技術指導者の育成：3人 有機転換支援：100.4ha 有機JAS認証関連支援：5件 有機産地づくりのための資機材導入支援：4件	持続可能なみやざきグリーン農業構築事業 みやざき有機農業拡大加速化事業	
⑩ 脱炭素新技術の検証や、省エネルギー機器設備・資材の導入支援を行った。	化石燃料を使用しない機器の検討等を行う協議会の設立 補助件数：1件 (技術実証等への支援)	脱炭素をめざす省エネ型施設園芸設備導入推進事業	農産園芸課
⑪ 産地再生ビジョンを策定するとともに、有機栽培や設備の長寿命化などビジョンの具現化に必要な取組への支援を行った。	支援実績：7件	持続可能な茶生産をめざす産地再生支援事業	
⑫ みやざき成長産業育成貸付（みやざきゼロカーボン応援）：温室効果ガス排出量削減を図るために必要な設備製造・導入に係る資金繰り支援を行った。	融資実績：8件	宮崎県中小企業融資制度貸付金	経営金融支援室

### (3) 運輸部門における排出削減対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 電気自動車やV 2 H の導入を支援することにより、再エネ由来電力の自家消費を促進するとともに、県内事業者の光熱費負担軽減を図った。	補助件数： EV 1件 V 2 H 2件 [再掲]	県内事業者省エネ対策推進事業	環境森林課
② トラックによる陸上輸送から、海上輸送や鉄道輸送にシフトした貨物等に対して補助し、モーダルシフトの推進を図った。	補助件数：36件	広域物流網利用促進事業 モーダルシフト促進強化事業	総合交通課
③ 港湾等へ向かう際の有料道路利用料金の助成を実施し、モーダルシフトのさらなる推進を図った。	補助台数：4,770台	高速道路等利用料助成事業	
④ 専門講師を招いての事業者向け再エネや省エネに関するセミナーの開催等により、事業者の脱炭素化への取組を促進するとともに、積極的な取組を実施した事業者を表彰し、広く県民にPRした。	セミナー開催：3回 現地見学会：1回 表彰：1事業者 [再掲]	脱炭素対策普及促進事業	環境森林課

### (4) 二酸化炭素以外の温室効果ガス排出削減の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 県内事業者の温室効果ガス排出量を可視化するとともに、エネルギー転換などの取組を支援することにより、事業活動における排出量の削減を図った。	温室効果ガスの可視化支援：66社 伴走支援：20社	脱炭素経営支援事業	環境森林課
② 「フロン排出抑制法」に基づき、フロン類充填回収業者の登録等を行った。	登録業者数：579業者	フロン対策推進事業	環境管理課
③ 自動車リサイクル法の円滑な施行に努めるとともに、使用済自動車のリサイクル及び適正処理の推進を図った。	「登録」：引取業：76件 フロン類回収業者：15件 「許可」：解体業：23件 破碎業：9件	自動車リサイクル推進事業	循環社会推進課
④ 畜ふん燃焼や耕種部門との連携など家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や、堆肥広域流通の支援、家畜排せつ物の適正処理の支援を行った。	補助事業：2件 堆肥の広域流通支援：1件 家畜排せつ物適正処理支援：18件	未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援事業	畜産振興課

## 2 再生可能エネルギー等の導入促進

### (1) 地域と共生した再生可能エネルギーの導入促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 住宅や事業所等の太陽光発電設備や省エネ設備の導入等を支援することにより、2050年ゼロカーボン社会の実現に向けた温室効果ガス排出削減を図った。	補助件数： 太陽光発電設備 236件 蓄電池 207件 [再掲]	ひなたゼロカーボン加速化事業 県内事業者省エネ対策推進事業	環境森林課
② 専門講師を招いての事業者向け再エネや省エネに関するセミナーの開催等により、事業者の脱炭素化への取組を促進するとともに、積極的な取組を実施した事業者を表彰し、広く県民にPRした。	セミナー開催：3回 現地見学会：1回 表彰：1事業者	脱炭素対策普及促進事業	

③ 県庁舎において再エネ導入等を実施した。	太陽光発電設備： パーソルアカパーク宮崎、都城総合庁舎、宮崎県教育研修センター、県立日南病院 [再掲]	県有施設脱炭素関連設備導入事業	
④ 太陽光パネルや排出量の多い廃棄物の再生利用を促進するため、再資源化施設を整備する排出事業者や処理業者に対し支援を行った。	補助件数：5件	廃棄物再資源化推進事業	循環社会推進課
河川等に流出して災害に繋がるおそれがあり、再造林の支障となる短尺材・枝条等の林地残材を収集運搬し、持続可能な木質バイオマス資源として有効活用する取組を支援した。	地域協議会への支援 6協議会	流木抑制等バイオマス活用促進事業	山村・木材振興課
農村地域への小水力発電施設等の導入を促進し、低炭素・循環型社会の実現と過疎化・高齢化の進む農村地域の活性化を図った。	小水力発電施設整備：0件 (調整中1件)	県単小水力発電等農村地域導入支援事業	農村整備課
畜ふん燃焼や耕種部門との連携など家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や、堆肥広域流通の支援、家畜排せつ物の適正処理の支援を行った。	補助事業：2件 堆肥の広域流通支援：1件 家畜排せつ物適正処理支援：18件 [再掲]	未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援事業	畜産振興課
市町村等に対して小水力発電の可能性について調査・検討を行った。	市町村等へのPR実施 (13回)	市町村支援可能性調査	企業局工務管理課
運用開始から60年以上が経過し、主要機器等に老朽化が見られるため、最新機器への更新等を行った。	更新工事中 進捗率：20.9% (R7年3月)	綾第二発電所大規模改良事業	

## (2) 再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① みやざき成長産業育成貸付（みやざきゼロカーボン応援）：温室効果ガス排出量削減を図るために必要な設備製造・導入に係る資金繰り支援を行った。	融資実績：8件 [再掲]	宮崎県中小企業融資制度貸付金	経営金融支援室

## (3) クリーンエネルギー産業の振興・脱炭素化技術等への研究開発支援

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 専門講師を招いての事業者向け再エネや省エネに関するセミナーの開催等により、事業者の脱炭素化への取組を促進するとともに、積極的な取組を実施した事業者を表彰し、広く県民にPRした。	セミナー開催：3回 現地見学会：1回 表彰：1事業者	脱炭素対策普及促進事業	環境森林課
② 新エネルギーを活用した脱炭素に資する研究開発を行う産学共同研究グループ等の支援を行うことにより、県内における脱炭素関連産業の振興を進めるとともに、県内企業の脱炭素化の取組を促進した。	県内の産学官共同研究グループ等による4件の研究開発を採択し（新規3件、継続1件）、支援を行った。 県内企業3社を選定し、GHG排出量削減に向けた施策案の提案を行った。	脱炭素化技術研究開発支援事業 製造業脱炭素推進モデル育成事業	企業振興課

## 3 二酸化炭素吸収源対策

### (1) 吸收源としての森林等の整備

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動支援を行った。	森林ボランティア団体への活動助成：41団体 森林ボランティア団体への苗木提供：26団体 企業の森づくり協定締結：3企業	森林ボランティア団体等支援事業	環境森林課
② 県民ボランティアの集いや森林づくりの普及啓発を行い、県民等の森林づくりへの参画を推進した。	県民ボランティアの集い開催：台風接近により中止	森林づくり活動普及啓発事業	
③ 保安林機能のより効果的な發揮を促進するため、大規模森林所有者等に対し、保安林指定促進を行った。	保安林の指定率：32.0%	保安林管理事業	自然環境課
④ CO2吸収機能の高い森林の造成を図るため、植栽や下刈り、間伐等保安林の整備を行った。	保安林の整備：26ha	保安林整備事業	
⑤ 森林GISシステム等を活用した森林情報の整備・管理を行った。	デジタル正射画像整備：耳川計画区 地域森林資源調査：広渡川計画区	森林資源情報整備推進事業	森林経営課
⑥ 県や市町村が所有するデータの森林クラウドシステムへの搭載に係る詳細設計など、機能拡張に向けた取組を行った。	県民向け森林クラウドシステムの公開	森林クラウドシステム強化事業	
⑦ 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森林の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha	森林整備事業	
⑧ 公益上重要な森林を対象に、広葉樹造林や伐採後の速やかな再造林を進めることで、公益的機能の高い森林づくりを目指した。	広葉樹の植栽：8ha 速やかな再造林：905ha	水を貯え、災害に強い森林づくり事業	
⑨ 伐採・搬出作業で使用した機械を地拵えなどの造林作業に活用し、伐採と造林が連携した施業により低コスト化を図った。	伐採と造林の連携による再造林：3.29ha、2森林組合	伐採と造林の連携による再造林推進事業	

⑩ 素材生産事業体による再造林への参入を促進することにより、新たな造林担い手の育成を図り、伐採後の速やかな再造林を推進した。	地拵え植栽：76ha	素材生産事業体による再造林推進モデル事業	
⑪ 自家採穂園等のDNA解析、コンテナ苗生産施設の整備支援等により、品種が明確で、花粉の少ない優良苗木の安定した需給調整体制を確立した。	県採穂園及び採種園の維持管理 8.54ha、自家採穂園の現況調査、DNA解析：8箇所894本 ほか	「品種の明確な優良苗木」生産拡大事業	
成長に優れた優良苗木の安定供給を図るため、生産技術研修会の開催及び生産施設整備や穂木確保、試験的生産の支援等により、コンテナ苗の生産拡大を推進した。	簡易なコンテナ苗生産施設等の整備 12事業体、穂木確保への支援16事業体、試験的生産への支援 16事業体ほか	成長に優れたコンテナ苗供給体制整備事業	
⑬ カーボン・オフセット制度に基づいたJ-クレジットの販売を行った。	県有林に係るJ-クレジット販売数：31t/co2	森林由来J-クレジットの販売	
持続的な森林経営と原木の安定供給体制の強化や原木市等における業務の効率化を図るため、モデル的に行う山元土場から原木市場等までのデジタル情報のネットワーク構築に係る経費を支援した。	原木管理クラウドの実装に向けたシステムを開発、検証	原木流通情報デジタル化推進モデル事業	山村・木材振興課

## (2) 二酸化炭素固定化のための木材利用促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 非住宅分野における木造・木質化を推進するため、木造建築に関わる川上から川下までの関係者で構成する「みやざき木の建築推進協議会」の設立に加え、品質・性能の確かなJAS材等の普及促進や木造設計を行う建築士のスキルアップセミナー等を開催するとともに、中大規模木造施設の設計支援を行った。	建築士のスキルアップセミナー等の開催：6回 中大規模木造施設等の設計支援：2件	みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業	山村・木材振興課
② 一般消費者に向けた住宅フェアへのブース出展や、県産材を積極的に活用する工務店等の登録制度や、炭素貯蔵量認証制度の新設、県産材住宅のPR経費への支援を行った。	住宅フェアへのブース出展：1回 セミナー開催：1回 認証工務店登録2件 工務店等が行うPR活動への支援：3件	ゼロカーボン社会に貢献する「みやざき材の家」普及促進事業	
③ 「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や園児等を対象とした「木育」を推進した。	県民会議の開催：1回 木育ネットワーク部会活動：9回 木育活動支援：14団体 木製遊具等の整備支援：12施設 [再掲]	みやざきWOOD・LOVE推進事業	

## (3) 都市緑化の推進等その他の吸収源対策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 主要な国県道の沿道において、樹木その他の植栽を保護するとともに、花木類の植栽等を行い、道路の緑化を進めた。	11事務所で沿道修景の取組を実施	沿道修景美化推進対策事業	道路保全課
② 藻類・貝類養殖の導入・定着を支援した。	藻類・貝類養殖の生産拡大：6件	養殖グリーン成長戦略推進事業	水産政策課

## 4 気候変動への適応

### (1) 気候変動の影響による情報の収集・共有等

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 宮崎県気候変動適応センターにおいて、県内の気候変動影響や適応策に関する情報を収集し、ホームページ等で県民へ発信した。	県庁ホームページ掲載：2回	宮崎県気候変動適応センター	環境森林課
② 宮崎県農水産業温暖化研究センターによる、農水産業における気候変動の影響調査等を継続的に実施した。	ホームページ、SNSを活用した農業気象等の情報発信：60回 県立図書館展示：1回	宮崎県農水産業温暖化研究センター	農業普及技術課

### (2) 農林水産業分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 特用林産物の安定した生産を図るため、野生鳥獣類の侵入防止施設等の整備を支援した。	獣害侵入防止寒冷紗 290m	しいたけ等特用林産物生産体制強化事業	山村・木材振興課
② 温暖化に対応した新品種の育成並びに新品目の導入、気候変動に対応した農作物栽培管理技術の開発・普及及び新奇病害虫に対する防除技術の開発等を進めた。	取組研究課題：14課題 研究成果報告会：1回	農事試験費	農業普及技術課
③ 人工種苗やEPO飼料への転換を実証する取組や、藻類・貝類養殖の導入・定着を支援した。	人工種苗への転換：3件 EPO飼料への転換：3件 藻類・貝類養殖の生産拡大：6件	養殖グリーン成長戦略推進事業	水産政策課

(3) 水環境・水資源分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
次代を担う中学生を対象に、水の重要性等について作文を募集する「水の作文コンクール」を実施し、水資源が有限であることや水資源開発の重要性について理解・関心を高めた。 ① 次代を担う中学生を対象に、水の重要性等について作文を募集する「水の作文コンクール」を実施し、水資源が有限であることや水資源開発の重要性について理解・関心を高めた。	ポスター配布 約470箇所 県の広報ツール（テレビ、ラジオ、県政けいじばん、県HP）を活用した周知 県応募総数 379編 (応募学校数 8校) 【受賞者】最優秀 1人 優秀 2人 入選 7人	水資源対策推進事業	中山間・地域政策課
② 水質測定計画に基づき、公共用域水質の常時監視を行った。	測定地点数：239地点 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供	水質環境基準等監視事業（公共用域常時監視）	環境管理課
③ 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森林の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha [再掲]	森林整備事業	森林經營課
④ 公益上重要な森林を対象に、広葉樹造林や伐採後の速やかな再造林を進めることで、公益的機能の高い森林づくりを目指した。	広葉樹の植栽：8ha 速やかな再造林：905ha [再掲]	水を貯え、災害に強い森林づくり事業	
企業局の発電に関係するダム上流域の未植栽地を水源かん養機能の高い森林として整備することにより、安定的な電力の供給と森林環境の保全を図った。 ⑤ 企業局の発電に関係するダム上流域の未植栽地を水源かん養機能の高い森林として整備することにより、安定的な電力の供給と森林環境の保全を図った。	植林面積 9.67ha 植林本数 24,175本 下刈面積 24.69ha	緑のダム造成事業	企業局総務課

(4) 自然生態系分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 希少野生動植物の現地調査、文献調査、生息状況等の把握を行った。	R6年度野生動植物生息状況等調査	宮崎県版レッドデータブック改訂事業	
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。 ② 自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 重要生息地保全作業 2回	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

(5) 自然災害・沿岸域分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① ハード・ソフト対策の両面から、総合的な土砂災害対策を推進した。	4箇所概成（砂防事業） 4箇所概成（急傾斜地崩壊対策事業） 8箇所指定（土砂災害警戒区域） 11箇所指定（土砂災害特別警戒区域）	砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、砂防基礎調査等	砂防課
② 地震、高潮、津波などによる被害を防止、軽減するため、漁港施設及び漁港海岸の整備を推進した。	工事実施箇所 ：10漁港 1海岸（継続事業）	水産基盤整備事業・漁港海岸高潮対策事業	漁港漁場整備室
③ 洪水、高潮などによる被害を未然に防止、軽減するため、河川・海岸などの施設整備を行った。	河川整備率：50.6%	公共河川事業、公共海岸事業	河川課
④ 高潮、津波による被害を防止・軽減するため、海岸施設の整備を行った。	工事実績箇所 2港湾海岸（継続事業）	公共海岸保全港湾事業	港湾課

(6) 健康分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 熱中症の予防や対処法について、テレビや新聞、SNS等を使った情報発信、リーフレットやグッズの配布による普及啓発を行った。	○情報発信 【時期】5月～7月 【方法】県庁ホームページ、新聞（2回）、ラジオ（1回）、県政番組等（3回）、庁舎内ブース設置（2週間）、包括連携協定企業とのコンビニエンスストアにおける広報 ○啓発グッズ配布 【時期】6月 【場所】庁舎内及び保健所、市町村 【内容】啓発リーフレット、うちわ等（3,000部）	熱中症対策	健康増進課

② ダニ媒介感染症及び蚊媒介感染症に関するポスター、リーフレットを作成し 注意啓発を図るほか、モニタリング調査等を実施した。	○ポスター（1,147部） リーフレット（8,390部）の配布 ○ラジオ、県ホームページ等による情報発信	動物由来感染症対策事業	薬務感染症対策課
---	--	-------------	----------

#### (7) 経済活動・県民生活分野における適応策

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 「環境みやざき推進協議会」と連携し、啓発紙「ecoみやざき」の配布等により、気候変動に適応したライフスタイルの普及啓発を行った。	発行：年4回 配布：各1,500部（電子媒体含む） 木一ムページ「みやざきの環境」に掲載 新聞広告に掲載 [再掲]	多様な主体による環境実践行動推進事業	環境森林課

#### 【環境指標】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値						目標値 R12	達成率
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		
温室効果ガス総排出量 (CO <sub>2</sub> 換算) ※森林等吸収量を控除後の値	千t-CO <sub>2</sub>	6,384 [H29]	5,865 [R1]	6,449 [R2]	5,509 [R3]	5,892 [R4]		4,881	82.8%	4,073
再生可能エネルギー総出力電力	MW	2,318	2,697	2,748	2,876	3,062		3,098	98.8%	3,600
森林等の二酸化炭素吸収量 (CO <sub>2</sub> 換算)	千t-CO <sub>2</sub>	4,154 [H29]	4,046 [R1]	3,922 [R2]	3,839 [R3]	3,797 [R4]		3,768	100.8%	3,555
間伐実施面積	ha	2,606	2,976	2,435	2,537	2,533		6,000	42.2%	6,000
気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画を策定している市町村の割合(累計)	%	7.7	7.7	7.7	7.7	42.3		30.0	141.0%	50.0
河川改修が必要な区間の河川整備率	%	49.7	50.1	50.2	50.3	50.6		50.9	99.4%	51.9



1-(1) ひなたゼロカーボン2050行動ブック



1-(2) 7号館屋上に太陽光パネル設置



1-(2)(3) 事業者向け省エネ・再エネセミナー



2-(1) 農業用水を利用した小水力発電の可能性調査



3-(1) 「企業の森づくり」協定調印式



4-(1) 農水産業への温暖化の影響と対応策の取組に関する研究成果パネル展示

## II 循環型社会の形成

廃棄物が適正に処理され、食品ロスの削減など4R（リユース、リデュース、リユース、リサイクル）の取組が実践されており、環境への負荷が少ない循環型社会が実現している宮崎県を目指して、施策を展開した。

### 1 4Rの推進

#### (1) 4Rの普及啓発

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 「宮崎県4R推進協議会」が実施する「4Rアクションサポート事業」に対する補助を通じ、県民主導による4Rの推進を図った。	実施団体：8団体	循環型社会推進総合対策事業（4R推進協議会負担金等）	
小学生にもわかりやすく4Rを解説した「ごみ減量化テキスト」の電子ブックを作成してHP「みやざきの環境」に掲載し、県民へ4Rの普及啓発を行った。	電子ブック作成	循環型社会推進総合対策事業（啓発事業）	循環社会推進課

#### (2) 廃棄物の発生抑制・減量化の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 「宮崎県4R推進協議会」が実施する「4Rアクションサポート事業」に対する補助を通じ、県民主導による4Rの推進を図った。	実施団体：8団体 [再掲]	循環型社会推進総合対策事業（4R推進協議会負担金等）	
小学生にもわかりやすく4Rを解説した「ごみ減量化テキスト」の電子ブックを作成してHP「みやざきの環境」に掲載し、県民へ4Rの普及啓発を行った。	電子ブック作成 [再掲]	循環型社会推進総合対策事業（啓発事業）	循環社会推進課

#### (3) リサイクル・再生資源化の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 自動車リサイクル法の円滑な施行に努めるとともに、使用済自動車のリサイクル及び適正処理の推進を図った。	「登録」：引取業：76件 フロン類回収業者：15件 「許可」：解体業：23件 破碎業：9件 [再掲]	自動車リサイクル推進事業	
② 排出量の多い廃棄物の再生利用を促進するため、再資源化施設を整備する排出事業者や処理業者に対し支援を行った。	補助件数：5件 [再掲]	産業廃棄物リサイクル転換支援事業	循環社会推進課
③ 安全性、品質及び循環資源の利用割合等、一定の要件を満たすリサイクル製品を「みやざきリサイクル製品」とし認定し、その利用拡大に取り組んだ。	リサイクル製品の新規認定：2製品（合計130製品）		

#### (4) 地域資源の有効活用の促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 排出量の多い廃棄物の再生利用を促進するため、再資源化施設を整備する排出事業者や処理業者に対し支援を行った。	補助件数：5件 [再掲]	産業廃棄物リサイクル転換支援事業	循環社会推進課
② 河川等に流出して災害に繋がるおそれがあり、再造林の支障となる短尺材・枝条等の林地残材を収集運搬し、持続可能な木質バイオマス資源として有効活用する取組を支援した。	地域協議会への支援 6協議会 [再掲]	流木抑制等バイオマス活用促進事業	山村・木材振興課
③ 環境に調和した農業生産活動を推進するため、農業用廃棄プラスチックの適正処理・リサイクルの啓発やプラスチック殻の流出防止対策を行うとともに、地域の実情に合わせた地域主体の排出体制の支援を行った。	集積所での農家に対する分別指導：34集積所	農業用廃プラスチック適正処理推進事業	
④ 県産農畜水産物の加工残渣等の未利用資源における、機能性等成分の探索を実施し、活用可能性の発掘を行った。	機能性成分探索に関する委託業務1件（宮崎大学 農学部）	みやざきブランド「強み」向上支援事業	農業普及技術課
⑤ 畜ふん燃焼や耕種部門との連携など家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や、堆肥広域流通の支援、家畜排せつ物の適正処理の支援を行った。	補助事業：2件 堆肥の広域流通支援：1件 家畜排せつ物適正処理支援：18件 [再掲]	未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援事業	
⑥ 家畜排せつ物を有効利用するための処理施設の整備を行った。	施設の整備：4件	畜産競争力強化整備事業	畜産振興課

⑦ 飼料基盤及び畜舎、家畜排せつ物処理施設の整備を行った。	補助事業：3件 飼料基盤整備：7.2ha 畜舎整備：2棟 家畜排せつ物処理施設整備：1基	畜産基盤再編総合整備事業	
⑧ 産学官グループ等による環境リサイクル関連の技術開発を支援するとともに、開発した製品の販路開拓を支援した。	県内の産学官共同研究グループ等による9件の研究開発を探査し（新規4件、継続5件）、支援を行った。	環境イノベーション支援事業	企業振興課
⑨ 公共工事におけるリサイクルに関する情報発信を行うほか、民間の建設工事におけるリサイクルの意識啓発を行った。	リーフレット作成・配布：875部	公共事業品質確保推進事業（建設リサイクルの促進）	技術企画課

#### (5) プラスチック資源循環に向けた取組

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 廃プラスチック類など排出量の多い廃棄物の再生利用を促進するため、再資源化施設を整備する排出事業者や処理業者に対し支援を行った。	補助件数：5件 [再掲]	産業廃棄物リサイクル転換支援事業	循環社会推進課
② 環境に調和した農業生産活動を推進するため、農業用廃棄プラスチックの適正処理・リサイクルの啓発やプラスチック殻の流出防止対策を行うとともに、地域の実情に合わせた地域主体の排出体制の支援を行った。	集積所整備支援：3集積所	農業用廃プラスチック適正処理推進事業	農業普及技術課
③ 漁業者等が実施する漂着ごみや海底に堆積したプラスチックごみなどの回収や処分にかかる経費を支援した。	漂流漂着堆積物処理活動の取組組織：6組織	資源管理イオペーション事業のうち水産多面的機能の発揮	漁業管理課

## 2 廃棄物の適正処理の推進

#### (1) 廃棄物の適正処理の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① （一社）宮崎県産業資源循環協会が実施する優良産廃処理業者認定取得に向けた取組などを支援し、環境産業の一翼を担う産業廃棄物処理業の持続的な発展を促した。	産廃関係講習会等受講者：19人 産廃関係検定受験：14人 優良認定相談窓口の設置（循環協会内） 優良認定取得支援アドバイザー派遣：5回	優良産業廃棄物処理業育成支援事業	
② 県民及び廃棄物の排出事業者や処理業者も対象とした意識啓発事業を実施し、循環社会形成のための理解を促進した。	排出事業者向け講習会：県内9か所（293人） 処理業者向け講習会：県内3か所（175人） 電子マニフェスト操作研修会：県内3か所（55人） 不法投棄防止啓発キャンペーンの実施：県内4か所（168人）	循環型社会推進総合対策事業（啓発事業）	循環社会推進課
③ 宮崎市における廃棄物監視員の設置に要する経費の一部を補助することにより、宮崎市と連携しながら、県全体の不法投棄等の不適正処理事業の解消を図った。	廃棄物監視員の配置：4人	産業廃棄物適正処理監視体制連携事業	
④ 環境に調和した農業生産活動を推進するため、農業用廃棄プラスチックの適正処理・リサイクルの啓発を行うとともに、地域の実情に合わせた地域主体の排出体制の支援を行った。	適正処理啓発チラシ配布：11,165部	農業用廃プラスチック適正処理推進事業	農業普及技術課
⑤ 食品安全、環境保全、労働安全等、農畜産物の生産工程を改善するGAPの取組を推進し、産地の強み向上に寄与した。	新たにGAP認証を取得した経営体数：県版GAP 3経営体、JGAP 4経営体	みやざきブランド「強み」向上支援事業	農業流通ブランド課

#### (2) 不法投棄等の防止

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 保健所等に現職警察官及び廃棄物監視員を配置し、産業廃棄物の不適正処理に対する行政指導・行政処分を行った。	警察官の配置：3人 廃棄物監視員の配置：18人 行政指導：162件 行政処分：5件	廃棄物不適正処理防止対策強化事業	
② 山間地域の森林・林業に精通する森林組合の協力を得て、全国一の林内路網を活用した監視パトロール等を実施し、山間地域の不法投棄を防止した。	監視パトロール：年12回実施 西米良村、諸塙村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	山間地域不法投棄監視パトロール強化事業	循環社会推進課

③ 宮崎市における廃棄物監視員の設置に要する経費の一部を補助することにより、宮崎市と連携しながら、県全体の不法投棄等の不適正処理事業の解消を図った。	廃棄物監視員の配置：4人 [再掲]	産業廃棄物適正処理監視体制連携事業
④ 地域住民とともに（一社）宮崎県産業資源循環協会が実施する不法投棄物の撤去を支援することによって、県民の美化意識の向上につなげた。	不法投棄物撤去：1件	地域生活環境回復支援事業

### (3) 災害廃棄物の処理

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 災害廃棄物の処理主体である市町村職員等の危機意識の向上や知識習得を図るとともに、県、市町村及び関係団体等との連携体制を構築した。	ネットワーク会議の開催：1回 図上演習の実施：1回	災害廃棄物対応力・連携強化事業	循環社会推進課

## 3 食品ロスの削減

### (1) 食品ロスの実態調査及び調査・研究の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
「宮崎県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの実態調査を実施し、 ① 県民や団体、事業者、行政で組織する協議会において情報を共有しながら、効果的な啓発活動などを実施し、食品ロスの削減を推進した。	食品ロスに関する県民意識調査の実施、県内の事業系食品ロスの発生状況を調査の実施	「宮崎県食品ロス削減推進計画」ステップアップ事業	循環社会推進課

### (2) 食品ロスに関する教育及び学習の振興、普及啓発等

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 自立した消費者の育成を支援するために実施する出前講座等において、食品ロスに関する普及啓発を行った。	出前講座（小学校）：2回	消費者行政活性化事業	生活・協働・男女参画課
「宮崎県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの実態調査を実施し、 ② 県民や団体、事業者、行政で組織する協議会において情報を共有しながら、効果的な啓発活動などを実施し、食品ロスの削減を推進した。	食品ロスパネル展：6箇所 啓発動画の配信（YouTube、Instagram、TikTok）	「宮崎県食品ロス削減推進計画」ステップアップ事業	循環社会推進課
食品小売業者等との連携による啓発活動や幅広い世代に向けての食育活動に ③ よって、県民の「もったいない」の実践を促し、食品ロス削減に対する更なる意識向上を図った。	食育活動：60回 フェスティバル来場者数：約3,000人 てまえどりの推進：7社 もったいないキャンペーンの開催：1回	みやざき「食」のもったいない実践推進事業	農業流通ブランド課
④ 教員を対象とした研修会等において、環境保全や食品ロスの視点を含めた食に関する指導の充実を図るよう啓発した。	食育推進の取組の一つとしている「みやざき弁当の日」の実施率81%	食に関する指導の充実	スポーツ振興課

### (3) 食品関連事業者等の取組に対する支援

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
「宮崎県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの実態調査を実施し、 ① 県民や団体、事業者、行政で組織する協議会において情報を共有しながら、効果的な啓発活動などを実施し、食品ロスの削減を推進した。	食べきり協力店登録数：339店舗	「宮崎県食品ロス削減推進計画」ステップアップ事業	循環社会推進課

### (4) 食品ロス削減に関する情報の収集及び提供

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
「宮崎県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの実態調査を実施し、 ① 県民や団体、事業者、行政で組織する協議会において情報を共有しながら、効果的な啓発活動などを実施し、食品ロスの削減を推進した。	県HPや「みやざきの環境」サイトへの掲載	「宮崎県食品ロス削減推進計画」ステップアップ事業	循環社会推進課

(5) 未利用食品を提供するための活動の支援等

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
「宮崎県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの実態調査を実施し、 ① 県民や団体、事業者、行政で組織する協議会において情報を共有しながら、効果的な啓発活動などを実施し、食品ロスの削減を推進した。	フードドライブマニュアルの県HPへの掲載による情報発信、フードドライブ資材の貸出し、県庁内でのフードドライブの実施	「宮崎県食品ロス削減推進計画」ステップアップ事業	循環社会推進課
食品小売業者等との連携による啓発活動や幅広い世代に向けての食育活動に ② よって、県民の「もったいない」の実践を促し、食品ロス削減に対する更なる意識向上を図った。	食育活動：60回[再掲] フェスティバル来場者数：約3,000人[再掲] 食材未利用部分を活用したレシピ動画の作成：2品目	みやざき「食」のもったいない実践推進事業	農業流通ブランド課

4 環境にやさしい製品の利用促進

(1) 積極的な木材利用の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
非住宅分野における木造・木質化を推進するため、品質・性能の確かなJAS規格等の普及促進や木造設計を行う建築士のスキルアップセミナー等を開催するとともに、中大規模木造施設の設計支援を行った。	建築士のスキルアップセミナー等の開催：6回 中大規模木造施設等の設計支援：2件 [再掲]	みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業	山村・木材振興課
一般消費者に向けた住宅フェアへのブース出展や、県産材を積極的に活用する ② 工務店等の登録制度や、炭素貯蔵量認証制度の新設、県産材住宅のPR経費への支援を行った。	住宅フェアへのブース出展：1回 セミナー開催：1回 認証工務店登録2件 工務店等が行うPR活動への支援：3件 [再掲]	ゼロカーボン社会に貢献する「みやざき材の家」普及促進事業	
③ 「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や園児等を対象とした「木育」を推進した。	県民会議の開催：1回 木育ネットワーク部会活動：9回 木育活動支援：14団体 木製遊具等の整備支援：12施設 [再掲]	みやざきWOOD・LOVE推進事業	

(2) 県内の公共事業における木造・木質化の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
県産材利用推進委員会を開催するとともに、公共施設や公共土木事業等における木材利用を推進するため、関係部局による検討会「公共施設等地域材利 用推進部会」、「グリーン公共事業推進部会」を開催した。	県有施設の木造化・木質化の推進 委員会開催：1回 部会開催：2回	県産材利用推進委員会	山村・木材振興課

(3) グリーン購入の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
県自ら環境への負担の少ない製品やサービスの優先的な購入を推進するとともに、県民や事業者に対しグリーン購入に関する普及啓発を進め、環境負荷低減に資する製品・サービスの調達を促進した。	[環境物品等調達方針]を作成	宮崎県グリーン購入基本方針	環境森林課

(4) 環境にやさしい製品の需要拡大に対する支援

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 安全性、品質及び循環資源の利用割合等、一定の要件を満たすリサイクル製品を「みやざきリサイクル製品」とし認定し、その利用拡大に取り組んだ。	リサイクル製品の新規認定：2製品（合計130製品） [再掲]	産業廃棄物リサイクル転換支援事業	循環社会推進課
県ホームページ内の住情報提供ネットワーク「みやざき住まいの安心情報バンク」により、省エネルギー住宅や県産材を活用した木造住宅等の環境にやさしい住宅について情報提供を行った。	アクセス件数：702件	住情報提供事業	建築住宅課

【環境指標】

項目	単位	策定期 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7			
最終処分量	千t	186 [H30]	186 [R2]	207 [R3]	208 [R4]	207 [R5]		172	83.1%	165
産業廃棄物(家畜ふん尿を含む) の排出量	千t	6,001 [H30]	5,845 [R2]	5,954 [R3]	5,889 [R4]	6,077 [R5]		5,938	97.7%	5,946
産業廃棄物(家畜ふん尿を含む) の再生利用量	千t	3,828 [H30]	3,830 [R2]	3,924 [R3]	4,002 [R4]	4,166 [R5]		4,037	103.2%	4,102
産業廃棄物(家畜ふん尿を含む) の再生利用率	%	63.8 [H30]	65.5 [R2]	65.9 [R3]	68.0 [R4]	68.6 [R5]		68.0	100.9%	69.0
産業廃棄物(家畜ふん尿を含む) の最終処分量	千t	143 [H30]	137 [R2]	160 [R3]	156 [R4]	159 [R5]		136	85.5%	136
産業廃棄物(家畜ふん尿を含む) の最終処分率	%	2.4 [H30]	2.3 [R2]	2.7 [R3]	2.6 [R4]	2.6 [R5]		2.3	88.5%	2.3
産業廃棄物(家畜ふん尿を除く)の 排出量	千t	2,216 [H30]	2,123 [R2]	2,263 [R3]	2,205 [R4]	2,257 [R5]		2,131	94.4%	2,131
産業廃棄物(家畜ふん尿を除く)の 再生利用量	千t	802 [H30]	855 [R2]	974 [R3]	1,057 [R4]	1,112 [R5]		831	133.8%	874
産業廃棄物(家畜ふん尿を除く)の 再生利用率	%	36.2 [H30]	40.3 [R2]	43.0 [R3]	47.9 [R4]	49.3 [R5]		39.0	126.4%	41.0
一般廃棄物の排出量	千t	397 [H30]	384 [R2]	378 [R3]	376 [R4]	362 [R5]		356	98.3%	327
1人1日当たりの一般廃棄物の排 出量(うち生活系ごみ)	g/人・ 日	987 (669) [H30]	968 (679) [R2]	961 (673) [R3]	963 (673) [R4]	933 (646) [R5]		952 (654)	102% (101.2%)	918 (638)
一般廃棄物の再生利用量	千t	63 [H30]	66 [R2]	65 [R3]	63 [R4]	60 [R5]		71	84.5%	82
一般廃棄物の再生利用率	%	15.9 [H30]	17.1 [R2]	17.2 [R3]	16.9 [R4]	16.6 [R5]		20.0	83.0%	25.0
一般廃棄物の最終処分量	千t	43 [H30]	49 [R2]	47 [R3]	52 [R4]	48 [R5]		36	75.0%	29
一般廃棄物の最終処分率	%	10.8 [H30]	12.6 [R2]	12.5 [R3]	13.7 [R4]	13.3 [R5]		10.0	75.2%	9.0
食品ロス量(家庭系)	t	-	-	-	-	-		20,200	-	17,700
食品ロス量(事業系)	t	-	-	-	-	-		25,300	-	23,000
公共建築物における木造率	%	16.3 [H30]	24.3 [R2]	15.9 [R3]	22.4 [R4]	19.1 [R5]		30.0	63.7%	35.0
グリーン購入実施率(県庁)	%	92.4	93.5 [R2]	91.4 [R3]	91.7 [R4]	88.3 [R5]		100	88.3%	100
みやざきリサイクル製品認定数	品目	101	117	128	131	130		150	86.7%	200



1-(5) 漁業者による漂着ゴミの清掃



2-(1) 産業廃棄物排出事業者講習会



2-(1) 海岸漂着物等発生抑制対策事業  
における啓発CM



3-(2) 食べきり宣言プロジェクト  
における啓発CM



4-(1) みやざき木づかい県民会議(感謝状の贈呈)

### III 地球環境、大気・水環境等の保全

大気環境・水環境保全のための監視・指導や合併処理浄化槽への転換等の推進により、良好な自然環境が保たれるとともに、環境への理解が深まり、土地開発等の環境負荷が低減される宮崎県を目指して、施策を展開した。

#### 1 地球環境、大気環境の保全

##### (1) 大気汚染防止対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 大気汚染防止法に基づき大気汚染の状況について常時監視を行うとともに県民への情報提供を行った。	一般環境測定局16局 自動車排出ガス測定局5局 ホームページ「みやざきの空」でリアルタイムに情報提供	大気汚染常時監視事業	環境管理課
② 大気汚染物質の排出源となる工場・事業場に対し定期的に立入検査を実施した。	立入検査：115件		
③ 「2050年ゼロカーボン社会づくり」に合わせて、企業局の水力発電等の取組 を広く県民にPRするとともに、公用車にEVを追加導入し、各種イベントで電力供給の実演を行うなど啓発に努めた。	・インフラツアードの開催（2回 上祝子発電所、岩瀬川発電所） ・ラッピングバスの運行（3市 宮崎市、都城市、延岡市 4月～3月）	企業局ゼロカーボンPR事業	企業局総務課

##### (2) 有害大気汚染物質等の対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 大気汚染防止法に基づき、有害大気汚染物質等のモニタリングを行うとともに県民への情報提供を行った。	調査地点：4地点 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供	有害大気汚染物質モニタリング事業	環境管理課

##### (3) 騒音・振動・悪臭対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 自動車交通騒音の面的評価、航空機騒音の常時監視を行うとともに、県民への情報提供を行った。	面的評価：15地点 常時監視：5地点 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供	騒音悪臭等対策	環境管理課

#### 2 水環境の保全

##### (1) 水質汚濁防止対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① グリーン購入に取り組むことにより、ノンフロン製品の普及を推進した。	「環境物品等調達方針」を作成	宮崎県グリーン購入基本方針	環境森林課
② 広域的な大気汚染の状況把握のため、酸性雨のモニタリングを実施した。	調査地点：2地点	酸性雨モニタリングネットワーク事業、フロン対策推進事業	環境管理課
③ 「フロン排出抑制法」に基づき、フロン類充填回収業者の登録等を行った。	登録業者数：579業者〔再掲〕		
④ 自動車リサイクル法の円滑な施行に努めるとともに、使用済自動車のリサイクル及び適正処理の推進を図った。	「登録」：引取業：76件 フロン類回収業者：15件 「許可」：解体業：23件 破碎業：9件〔再掲〕	自動車リサイクル推進事業	循環社会推進課

③ 水質汚濁防止法に定める特定事業場等に対して、排出水の水質監視や立入検査による指導を実施することにより、公共用水域の水質保全を図った。	排出水検査：141事業場 立入検査：643件	排水基準監視事業
--	---------------------------	----------

#### (2) 生活排水対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 净化槽を設置しようとする者を対象に浄化槽設置者講習会を開催することにより、浄化槽の適正な維持管理を啓発した。	講習会参加者数：1,857人 (WEB講習会も併用)	浄化槽適正管理指導事業	環境管理課
② 単独処理浄化槽及びくみ取り槽からの転換における合併処理浄化槽の設置に市町村が助成した場合及び市町村が主体となって合併処理浄化槽を設置する場合のほか、これらに伴う単独処理浄化槽の撤去及び宅内配管工事を行う場合に補助を行うことにより、公共用水域の保全を図った。	補助基数：719基	浄化槽整備促進事業	
③ 浄化槽の法定検査未受検者に対し、ハガキによる受検啓発を行うとともに、10月の「浄化槽適正管理推進月間」を活用し、関係機関と連携して浄化槽の適正な維持管理を推進した。	啓発文書発送件数：34,174件	浄化槽法定検査受検率向上推進事業	

#### (3) 河川净化等の県民活動の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 小中学生や子ども会等を対象とした水辺環境調査や水辺の学習の普及拡大、水辺の学習成果パネル展示会、ホームページ「ふるさとの水辺」を活用した水辺環境情報の発信、エコ用品配布等による水環境保全の啓発を実施した。	水辺環境調査：44団体 パネル展：5か所 水環境保全啓発：21か所	水環境ふれあい活動事業	環境管理課

#### (4) 都城盆地硝酸性窒素削減対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 関係機関で構成する「都城盆地硝酸性窒素削減対策協議会」において、家畜排せつ物対策、施肥対策及び生活排水対策に取り組むことにより、盆地内の硝酸性窒素の削減対策を推進し、都城盆地に設置した観測井の地下水モニタリングを行った。	地下水測定件数：103件 (うち基準超過：5件)	都城盆地硝酸性窒素削減対策事業	環境管理課
② 都城地区の地下水の「硝酸態窒素」削減のため、農業分野での適正施肥を推進した。	土壤・作物の硝酸態窒素分析：248件	都城盆地硝酸態窒素削減対策協議会	農業普及技術課
③ 畜ふん燃焼や耕種部門との連携など家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や、堆肥広域流通の支援、家畜排せつ物の適正処理の支援を行った。	補助事業：2件 堆肥の広域流通支援：1件 家畜排せつ物適正処理支援：18件 〔再掲〕	未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援事業	畜産振興課

#### (5) 一ツ瀬川及び小丸川の濁水軽減等対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 一ツ瀬川水系濁水対策評価検討委員会において、濁水対策に関する評価・検討を行うことにより、一ツ瀬川の濁水軽減を図った。	上・中下流域で実施した濁水軽減対策の取組について評価検討を実施	一ツ瀬川水系濁水対策評価検討委員会運営	環境管理課
② 一ツ瀬川及び小丸川流域の森林整備事業に対する支援等により、一ツ瀬川及び小丸川の濁水の長期化の抑止等を図った。	森林整備事業による下刈りへの補助：1団体	一ツ瀬川及び小丸川上流域森林保全機構運営	
③ 治山ダムや山腹工等の計画的な整備を行った。	治山ダム工：4基 山腹工：1式	山地治山事業	自然環境課

#### (6) 土壤汚染対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 一定規模以上の土地の形質変更届出の審査により、また、汚染土壤の区域が確認された場合には区域指定することにより、汚染土壤の拡散の未然防止を図った。	土地の形質変更の届出：157件 区域指定：2件	土壤汚染対策法届出・申請等審査	環境管理課

#### (7) 水系別の総合的な水環境保全のための連携

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 水質測定計画に基づき、公共用水域水質の常時監視を行った。	測定地点数：239地点 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供〔再掲〕	水質環境基準等監視事業（公共用水域の常時監視）	環境管理課
② 水質測定計画に基づき、地下水質の常時監視を行った。	測定地点数：119地点 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供〔再掲〕	水質環境基準等監視事業（地下水の常時監視）	
③ 水質汚濁防止法に定める特定事業場等に対して、排出水の水質監視や立入検査による指導を実施することにより、公共用水域の水質保全を図った。	排出水検査：141事業場 立入検査：643件 〔再掲〕	排水基準監視事業	
④ 汚水処理（下水道・農漁業集落排水・浄化槽・し尿処理）事業に対し、行政界を越えた施設の統廃合等や、維持管理の連携などについて、効率的な運営管理を目指す目的で「宮崎県汚水処理事業に係る広域化・共同化計画」を策定した。	施設の統廃合等について検討会を開催：8ブロック	下水道広域化推進総合事業	都市計画課

### 3 化学物質対策

(1) 化学物質の環境調査の継続的実施			
取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① ダイオキシン類について、継続して環境調査を行うとともに、県民への情報提供を行った。	調査地点：大気3、水質16、底質14、地下水6、土壤9 ホームページ「みやざきの環境」への掲載による情報提供	ダイオキシン類対策事業	環境管理課
(2) 事業者の監視・指導体制の強化			
取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① PRTR法に基づき、特定化学物質の排出等の状況を把握し、事業者の化学物質対策について監視・指導を行った。	届出事業所：320件	PRTR推進事業	環境管理課
(3) 化学物質に関する情報の把握と情報交換（リスクコミュニケーション）の推進			
取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 化学物質の製造・使用・廃棄等の実態や環境及び人への影響などの情報把握を行った。	調査項目：3種（大気、水質、底質）	化学物質環境汚染実態調査	環境管理課

### 4 環境負荷の低減

(1) 環境影響評価			
取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 開発事業者から提出される環境影響評価図書に対して、環境保全の見地から審査を行った。	—	環境影響評価	環境管理課
(2) 公害健康被害対策			
取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 高千穂町土呂久地区の公害健康被害者の救済と住民の健康保持を図るため、補償給付、健康観察検診及び保健指導等を行った。	○法給付適用者：41人 ○健康観察検診：63人	公害保健対策	環境管理課



1-(1) 大気汚染状況常時監視



2-(1) 特定事業場排出水検査



2-(1) 污水処理施設



2-(3) 「五感を使った水辺環境指標」を用いた水辺環境調査

【環境指標】

項目	単位	策定期 現況値 (R1)	実績値					目標値 R7	達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7			
<b>大気環境基準達成率</b>										
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	%	88.2	88.2	94.1	88.2	91.2		100	91.2%	100
二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
光化学オキシダント(Ox)	%	0	0	0	0	0		100	0.0%	100
浮遊粒子状物質(SPM)	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
微小粒子状物質(PM <sub>2.5</sub> )	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
一酸化炭素(CO)	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
<b>有害大気汚染物質の環境基準達成率</b>										
ベンゼン	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
トリクロロエチレン	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
テトラクロロエチレン	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
ジクロロメタン	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
自動車騒音の環境基準達成率 面的評価	%	95.9	97.9	99.7	96.4	99.8		100	99.8%	100
航空機騒音の環境基準達成率	%	20.0	60	80	40	60		100	60.0%	100
<b>水質環境基準達成率</b>										
生物化学的酸素要求量(BOD)	%	96.2	97.5	98.7	100	98.7		100	98.7%	100
化学的酸素要求量(COD)	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
地下水における環境基準達成率 (%)	%	87.9	89.7	91.2	90.0	88.2		100	88.2%	100
生活排水処理率	%	82.0	83.5	84.8	85.5	86.5		87.7	98.6%	91.8
公共下水道	%	54.7	55.7	56.3	56.7	57.3		59.1	97.0%	62.2
合併処理浄化槽	%	23.6	24.2	24.8	25.1	25.6		25.0	102.4%	26.4
農(漁)業集落排水施設	%	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6		3.6	100.0%	3.2
<b>浄化槽法定検査実施率</b>										
7条検査(設置後の検査)	%	100	100	100	100	未確定		100	未確定	100
11条検査(年に1回の定期検査)	%	55.6	57.1	57.4	59.3	未確定		66.0	未確定	75.0
<b>ダイオキシン類に係る環境基準の達成率</b>										
大気	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
公共用水域水質	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
公共用水域底質	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
地下水	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
土壤	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100

## IV 生物多様性の保全

県民等が生物多様性の保全と持続的な利用の重要性を認識し、多様な森林づくりや自然環境に配慮した環境整備が推進されることにより、森林や河川などの特性に応じた生物多様性が確保されている宮崎県を目指して、施策を展開した。

### 1 生物多様性の確保

#### (1) 野生生物の適切な保護管理

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 希少野生動植物の現地調査、文献調査、生息状況等の把握を行った。	R6年度野生動植物生息状況等調査[再掲]	宮崎県版レッドデータブック改訂事業	
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等 ② が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 重要生息地保全作業 2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

#### (2) 重要地域の保全

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等 ① が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業 2回	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

#### (3) 県土の区分に応じた生物多様性の保全

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等 ① が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業 2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

#### (4) 生物多様性の主流化の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等 ① が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業 2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

### 2 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

#### (1) 健全で多様な森林づくり

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 県民ボランティアの集いや森林づくりの普及啓発を行い、県民等の森林づくりへの参画を推進した。	県民ボランティアの集い 開催：台風接近により中止 [再掲]	森林づくり活動普及啓発事業	

② 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動支援を行った。	森林ボランティア団体への活動助成：41団体 森林ボランティア団体への苗木提供：26団体 企業の森づくり協定締結：3企業 [再掲]	森林ボランティア団体等支援事業	環境森林課
③ 先人から受け継いだ名木等の縁の文化財や県木フェニックスを病害虫等から保護・保全するために被害防止対策を行った。	名木等：9本 県木フェニックスの薬剤防除：12本	名木等保全支援事業	自然環境課
④ 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森林の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha [再掲]	森林整備事業	森林経営課
⑤ 公益上重要な森林を対象に、広葉樹造林や伐採後の速やかな再造林を進めることで、公益的機能の高い森林づくりを行った。	広葉樹の植栽：8ha 速やかな再造林：905ha [再掲]	水を貯え、災害に強い森林づくり事業	
⑥ 新規就業者を対象とした即戦力となる人材の育成や、高度な知識や技能を有した技能者の育成を行った。	研修受講：697人	「みやざき林業大学校」扱い手育成総合研修事業	山村・木材振興課

## (2) 適切な森林管理の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森林の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha [再掲]	森林整備事業	
② 衛星画像データのAI判読による森林情報の適時利用等を行った。	利用回数：県、市町村で351回	I C T を活用した森林情報デジタル化推進事業	森林経営課
③ 持続的な林業生産活動を推進するため、高性能林業機械等の導入や、山土場の整備など林業の生産性向上に資する施設整備及び山村地域の環境条件の改善に必要な施設整備等を支援した。	高性能林業機械：1件	合板・製材・集成材国際競争力強化総合対策事業	
④ 外材や他県産材に対抗できる木材の供給体制を確立し、森林資源の循環利用を推進するため、木材加工流通施設や森林バイオマス等活用施設及び特用林産振興施設等の整備を支援した。	木材加工流通施設：7件	木材産業構造改革事業 合板・製材・集成材国際競争力強化総合対策事業	
⑤ 木材の生産及び流通の合理化を促進し木材供給の円滑化を図るため、木材の生産又は流通を担う事業者に対し、その行う事業の合理化を推進するために必要な資金を低利で融資した。	融資実績：14者 14件	木材産業等高度化推進資金	山村・木材振興課
⑥ 素材生産・引取、製材、乾燥材生産等を営む事業者に対して、事業の改善等を図るために必要な運転資金を低利で融資した。（県単融資制度）	融資実績：18者 21件	木材産業振興対策資金	
⑦ 持続的な森林経営と原木の安定供給体制の強化や原木市等における業務の効率化を図るため、モデル的に行う山元土場から原木市場等までのデジタル情報のネットワーク構築に係る経費を支援した。	原木管理クラウドの実装に向けたシステムを開発、検証 [再掲]	原木流通情報デジタル化推進モデル事業	

## (3) 資源循環型の森林づくりの推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 森林経営管理制度を推進するため、みやざき森林経営管理支援センターを設置・運営し、中心的役割を担う市町村に対して支援を行った。	意向調査実施面積 17,527ha(R7.3末)	森林経営管理市町村支援強化事業	再造林推進室
② 森林経営に関する森林所有者の意識醸成や伐採事業者に適正な伐採を促し、持続的な森林経営を推進した。	伐採パトロール：119回研修会：3回開催、202名参加	適切な森林経営促進事業	森林経営課
③ 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森林の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha [再掲]	森林整備事業	
④ 河川等に流出して災害に繋がるおそれがあり、再造林の支障となる短尺材・枝条等の林地残材を収集運搬し、持続可能な木質バイオマス資源として有効活用する取組を支援した。	地域協議会への支援 6協議会 [再掲]	流木抑制等バイオマス活用促進事業	
⑤ 意欲と能力のある林業経営者として登録した「ひなたのチカラ林業経営者」について、造林保育作業への新規参入を支援することなどにより、再造林を担う事業体を育成するとともに、人材の確保を図った。	事業体の支援 8事業体	ひなたのチカラ林業扱い手確保育成推進事業	山村・木材振興課
⑥ 新たに造林事業を開始又は拡大する事業体に対して、資機材整備などを支援するとともに、人材の確保を図った。	事業体の支援 13事業体	再造林を担う新たな「ひなたのチカラ」確保事業	

### 3 自然豊かな水辺の保全と創出

#### (1) 自然環境に配慮した河川づくりの推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 農政水産部と企業局が共同し、魚道の改修を実施した。	魚道機能の改善：2箇所	みやざきの内水面資源回復推進事業	水産政策課、企業局工務管理課
② 河川工事を実施する現場施工技術者等を対象に、河川において自然環境の保全・再生に取り組むための研修会やコンペを実施した。	多自然川づくりコンペ：1回 研修会の開催：3回	宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会	河川課

#### (2) 自然環境に配慮した海岸づくりの推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 海岸に漂着する海岸ごみを回収・処理し、また、発生抑制対策を推進し、美しく豊かな海の実現に努めた。	継続して委員会・WGを開催し、各種取組の評価・改善を図った。	海岸漂着物等地域対策推進事業	河川課

#### (3) 水域の生物の保全

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 日南海岸国定公園海域公園におけるサンゴ群集を保全するため、「日南海岸サンゴ群集保全協議会」の活動を支援した。	サンゴ写真展の実施（3月）	サンゴ群集保全活動支援事業	自然環境課
② 漁業者の依存度や放流効果等を踏まえて検討された魚種を生産・放流した。	放流魚種：ヒラメ 尾数：304千尾	資源管理イオベーション事業のうち持続可能な資源の造成	漁業管理課
③ 藻場・干渉・サンゴ礁等のモニタリングや漁場保全の取組に対して支援した。	藻場・干渉等保全活動取組組織：11組織	資源管理イオベーション事業のうち持続可能な資源の造成	
④ 農政水産部と企業局が共同し、外来魚の駆除や産卵場の造成を実施した。	外来魚の駆除：3箇所 産卵場の造成：8箇所	みやざきの内水面資源回復推進事業	水産政策課、企業局工務管理課
⑤ 人工種苗やE.P.飼料への転換を実証する取組や、藻類・貝類養殖の導入・定着を支援した。	人工種苗への転換：3件 E.P.飼料への転換：3件 藻類・貝類養殖の生産拡大：6件〔再掲〕	養殖グリーン成長戦略推進事業	水産政策課

#### (4) ため池・ダム貯水池の保全と適切な管理

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① ため池の整備に際しては、そこに生息・生育している生物に十分な配慮を行った。	ため池整備25か所	ため池等整備事業	農村整備課
② 農政水産部と企業局が共同し、ダム貯水池での外来魚駆除を実施した。	ダム貯水池での外来魚駆除：1箇所	みやざきの内水面資源回復推進事業	水産政策課、企業局工務管理課
③ ダム貯水池内の水質保全を図るため、各県管理ダムにおいて月1回の水質調査を実施した。	水質調査：県管理13ダム	ダム管理費	河川課

### 4 自然とのふれあいや配慮

#### (1) 自然とのふれあいの場や機会の確保

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 県内市町村と連携し、県内の自然公園が県民等にとって魅力的な場として認知されるための取組を推進した。	ボランティア団体の公園整備に対する支援（2団体）	みやざきの自然公園誘客強化事業	自然環境課
② 国立公園内利用施設の老朽化や国際化に対応した整備、国定公園や九州自然歩道内の利用施設のリニューアル整備を実施した。	国立公園 4箇所、 国定公園 1箇所、 九州自然歩道 1箇所	自然公園等整備事業	

④ ひなもり台県民ふれあいの森等の管理運営を行った。	利用者数：72,296人／年	ひなもり台県民ふれあいの森等 管理費	森林經營課
⑤ 農泊を推進する地域協議会に対して、サービス向上のための研修会開催や誘客のためのニーズ調査・広報活動等を支援した。	支援実績：5団体	みやざきの持続可能な農山村づくり支援事業のうち農泊ビジネス創造事業	農政企画課

(2) 自然環境教育・学習の充実

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 学校や地域における森林環境教育等を支援した。	指導者派遣：50件（学校等：39、自治会等11、参加者：1,538人）	森林環境教育啓発強化事業	環境森林課
② 遊学の森を活用した森林環境教育を実践した。	自然体験講座：12回、参加者：313名	「川南遊学の森」管理運営委託事業	
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等③ が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

(3) 自然とのふれあいの場の整備における自然環境への配慮

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 国立公園内利用施設の老朽化や国際化に対応した整備、国定公園や九州自然歩道内の利用施設のリニューアル整備を実施した。	国立公園 4箇所、 国定公園 1箇所、 九州自然歩道 1箇所 [再掲]	自然公園等整備事業	自然環境課

(4) 自然とのふれあい活動における自然環境への配慮

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等① が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課

【環境指標】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7			
自然公園面積	ha	92,024	92,024	92,024	92,024	92,024		92,024	100.0%	92,024
自然環境保全地域面積	ha	184	184	184	184	184		184	100.0%	184
緑地環境保全地域面積	ha	21	21	21	21	21		21	100.0%	21
重要生息地(累計)	箇所	11	14	14	14	15		14	107.1%	14
シカ推定生息数	頭	101,000 [H30]	94,000 [R2]	82,000 [R3]	86,000 [R4]	88,000 [R5]		65,000	73.9%	47,000
再造林面積	ha	2,134	2,092	2,151	2,242	2,079		2,200	94.5%	2,200
間伐実施面積[再掲]	ha	2,606	2,976	2,435	2,537	2,533		6,000	42.2%	6,000
森林ボランティア参加団体数(累計)	団体	206	188	184	201	193		230	83.9%	250
企業による森林整備・保全協定面積(累計)	ha	378	394	398	409	615		429	143.4%	472
自然環境の保全・創出に取り組む河川割合	%	100	100	100	100	100		100	100.0%	100
自然公園利用者数	千人	9,289 [H30]	5,709 [R2]	5,059 [R3]	6,101 [R4]	7,412 [R5]		9,300	79.7%	9,300
ひなもり台県民ふれあいの森利用者数	人	86,126	66,049	74,584	78,793	72,296		90,000	80.3%	100,000



1-(2) 濡原の保全活動(川南町)



2-(1) 「みやざき林業大学校」  
扱い手育成総合研修(美郷町)



3-(3) 「日南海岸のサンゴといきもの」写真展  
(宮崎市)



4-(1) ひなもり台県民ふれあいの森  
キャビン棟(管理運営)



4-(1) 初心者向けハイキング教室(高原町)



4-(1) 日豊海岸国定公園 金ヶ浜園地(日向市)

## V 環境保全のために行動する人づくり

学校、家庭、地域、職場における環境教育が推進されることにより、県民が環境に深い理解と関心を持ち、各主体が環境にやさしい暮らしを実践している宮崎県を目指して、施策を展開した。

### 1 環境教育の推進

#### (1) 家庭、学校、地域等における環境教育の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 家庭での環境意識を高めるため、地球温暖化防止活動推進員の派遣を行い、助言や省エネ診断等を行った。	推進員による普及啓発活動：3回 [再掲]	デコ活推進事業	
② 地域における環境教育を支援する環境情報センターにおいて、地域で開催される環境保全に関する学習講演等に対して環境保全に関する専門知識を有する「環境保全アドバイザー」を派遣した。	利用者数：25,833人 環境講座・出前講座71回 (参加者：2,774人) アドバイザーの派遣：72回 (参加者：2,167人)	環境情報センター運営事業	
③ 次世代を担う子どもの環境に対する知識や理解を段階的に深めるため、幼児期における環境教育を推進する「こどもエコチャレンジ推進事業」を実施した。	こどもエコチャレンジ認定施設：220施設		
④ 環境に関する情報を発信するホームページ「みやざきの環境」を運営した。	アクセス数：99,729件	「ネットで環境教育」推進事業	環境森林課
⑤ 次世代を担う人材への環境教育を円滑に行うため、本県における環境保全の重要性を啓発し、自発的な行動を促すパンフレット「みやざき環境読本」を配布した。 ⑥ 県民参加型の環境に関する絵本コンテストを実施し、優秀作品を製本化し、配布する。さらに、九州・山口各県合同の環境保全活動交流会に高校生を派遣した。	みやざき環境読本 印刷・配布：11,480冊 絵本コンテスト 応募作品数：23作品 最優秀賞作品をこどもエコチャレンジ施設に配布した	宮崎もっと環境教育推進事業	
⑦ 2050年ゼロカーボンの達成に向けて、県民や事業者の機運醸成や行動変容を促すため、県民参加型イベントの開催や行動ブックの作成などのプロモーションを展開した。	県民参加型イベントの開催（4回） 行動ブック（県民向け、事業者向け）作成、配布 [再掲]	2050年ゼロカーボン社会づくりプロジェクト	
⑧ 土呂久公害を踏まえた環境教育の推進等により、歴史の風化を防ぐとともに、公害の教訓を次世代に継承する取組を行った。	フィールドワーク：1回 パネル展：県内5か所 講演会：1回 授業動画配信等	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育事業	環境管理課
⑨ 小中学生や子ども会等を対象とした水辺環境調査や水辺の学習の普及拡大、 ⑩ 水辺の学習成果パネル展示会、ホームページ「ふるさとの水辺」を活用した水辺環境情報の発信、エコ用品配布等による水環境保全の啓発を実施した。	水辺環境調査：44団体 パネル展：5か所 水環境保全啓発：21か所 [再掲]	水環境ふれあい活動事業	
⑪ 小・中学校や高等学校において、県内14校の環境教育推進校を指定し、SDGsの視点を取り入れた持続可能な開発のための教育（ESD）に取り組む中で、地域の資源や人材を活用した4R活動を中心とした環境教育を推進することにより、循環型社会の担い手として主体的に行動できる児童生徒の育成を図った。	環境教育推進校の指定及び実施 小・中・義務教育学校（12校）、県立学校（2校） 環境教育リーダー研修（1回） 教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修（東京会場9名、大阪会場4名）	循環型社会を実現する環境教育推進事業	義務教育課 高校教育課

#### (2) 環境教育に関する情報の提供

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 環境に関する情報を発信するホームページ「みやざきの環境」を運営した。	アクセス数：99,729件 [再掲]	「ネットで環境教育」推進事業	
② 「環境みやざき推進協議会」と連携し、啓発紙「ecoみやざき」の配布等により、県民一人ひとりの環境教育に役立つ情報の提供を行った。	発行：年4回 配布：各1,500部（電子媒体含む） ホームページ「みやざきの環境」に掲載 新聞広告に掲載 [再掲]	多様な主体による環境実践行動推進事業	環境森林課
③ 環境保全活動を行う人の情報共有・交流の場として、「みやざき環境大学」を実施した。	研修交流会の開催：7回 (参加者：248人)	環境情報センター運営事業	
④ 6月の環境月間に環境の日キャンペーンなど様々なイベントを開催した。	県内7か所（各保健所ごと）で啓発チラシ・グッズの配布を行った。	環境月間	

#### (3) 環境教育を担う人材の養成・確保

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 活動等の取組の普及を図るために、地域で活動する地球温暖化防止活動推進員を対象とした研修会を実施した。	推進員向け研修会の開催：4回 [再掲]	デコ活推進事業	

② 地域における環境教育を支援するため、環境保全に関する専門知識を有した人材を「環境保全アドバイザー」として登録した。	環境保全アドバイザー新規登録数：3人 (登録アドバイザー数：84人)	環境情報センター運営事業	環境森林課
③ 「みやざき環境大学」の実施により、環境教育指導者の指導力向上を図るとともに、次世代を担う学生や指導者間の連携関係を構築した。	研修交流会の開催：7回 (参加者：248人) [再掲]		
④ 自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等が行う希少な動植物が生息・生育する重要生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6件 自然保護推進員139人 野生動植物保護監視員40人 自然保護総合研修大会開催 重要生息地保全作業 2回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課
⑤ 小・中学校や高等学校において、県内14校の環境教育推進校を指定し、SDGsの視点を取り入れた持続可能な開発のための教育（ESD）に取り組むことで、地域の資源や人材を活用した4R活動を中心とした環境教育を推進することにより、循環型社会の担い手として主体的に行動できる児童生徒の育成を図った。	環境教育推進校の指定及び実施 小・中・義務教育学校（12校）、県立学校（2校） 環境教育リーダー研修（1回） 教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修（東京会場9名、大阪会場4名） [再掲]	循環型社会を実現する環境教育推進事業	義務教育課 高校教育課

#### (4) 環境教育拠点の整備、機能充実

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 県民の自然や生活環境問題に対する知識・情報の普及や環境に関する教育・学習や活動を支援する拠点として「宮崎県環境情報センター」を設置し、県民の幅広い環境教育ニーズに応えられるような環境教育拠点機能の充実を図った。	利用者数：25,833人 環境講座・出前講座71回 (参加者：2,774人) アドバイザーの派遣：72回 (参加者：2,167人) [再掲]	環境情報センター運営事業	環境森林課
② 「宮崎県次世代エネルギーパーク」を活用し、再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーを実際に見て触ることで、エネルギーへの理解を深めると共に、環境保全意識の向上を図った。	見学受入人数：439人	宮崎県次世代エネルギーパーク活用推進事業	

#### (5) 森林環境教育の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 学校や地域における森林環境教育等を支援した。	指導者派遣：50件（学校等：39、自治会等11、参加者：1,538人） [再掲]	森林環境教育啓発強化事業	
② 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動支援を行った。	森林ボランティア団体への活動助成：41団体 森林ボランティア団体への苗木提供：26団体 企業の森づくり協定締結：3企業 [再掲]	森林ボランティア団体等支援事業	環境森林課
③ 遊学の森を活用した森林環境教育を実践した。	自然体験講座：12回、参加者：313名 [再掲]	「川南遊学の森」管理運営委託事業	
④ ひなもり台県民ふれあいの森等の管理運営を行った。	利用者数：72,296人/年	ひなもり台県民ふれあいの森等管理費	森林経営課

## 2 環境保全活動の推進

#### (1) 各主体が自発的に行う環境保全活動の支援

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 環境保全・美化活動に特に顕著な功績のあった個人・団体を表彰するとともに、取組内容を広く県民に紹介した。	令和6年度実績 個人：1人 団体：2団体	多様な主体による環境実践行動推進事業	
② 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動支援を行った。	森林ボランティア団体への活動助成：41団体 森林ボランティア団体への苗木提供：26団体 企業の森づくり協定締結：3企業 [再掲]	森林ボランティア団体等支援事業	環境森林課

(2) 多様な主体が相互に協力して行う協働取組の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 6月の環境月間に合わせ、環境保全に関する普及啓発イベント「みやざきエコフェスティバル」を開催した。	みやざきエコフェスティバル参加者：約400人	多様な主体による環境実践行動推進事業	環境森林課
② 11月には、県民総ぐるみの清掃活動「クリーンアップ宮崎」を実施した。	クリーンアップ宮崎参加者数：133,380人		
③ 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動支援を行った。	森林ボランティア団体への活動助成：41団体 森林ボランティア団体への苗木提供：26団体 企業の森づくり協定締結：3企業 [再掲]	森林ボランティア団体等支援事業	

【環境指標】

項目	単位	策定期現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7			
環境教育推進校指定校数	校	8	10	10	14	14		14	100.0%	14
水生生物調査(水辺環境調査)参加団体数	団体	41	37	39	39	44		60	73.3%	60
こどもエコチャレンジ施設認定数(累計)	施設	195	209	217	221	220		231	95.2%	261
環境保全アドバイザー講座等受講者数	人	4,243	2,079	2,348	2,003	2,167		4,500	48.2%	4,800
ホームページ「みやざきの環境」へのアクセス件数	件	183,521	350,355	343,159	275,817	99,729		340,000	29.3%	380,000
環境情報センター利用者数	人	40,968	10,951	16,896	23,448	25,833		44,000	58.7%	47,000
森林環境教育実践校(団体)数	校・団体	56	50	57	52	50		60	83.3%	65
森林づくり団体公募活動支援数	団体	34	36	42	41	41		41	100.0%	45
地方公共団体実行計画(事務事業編)を策定した市町村の割合(累計)	%	92.3	96.2	96.2	96.2	96.2		100	96.2%	100
地方公共団体実行計画(区域施策編)を策定した市町村の割合(累計)	%	15.4	23.1	19.2	38.5	42.3		30.0	141.0%	50.0
「環境みやざき推進協議会」参加会員数(累計)	団体等	453	440	428	422	399		500	79.8%	600



1-(1) 環境情報センターにおける環境講座



1-(1) 環境教育用パンフレット  
「みやざき環境読本」



1-(1) 大学生が参加した「土呂久を学ぶ  
フィールドワーク」



1-(4) 環境情報センター



2-(2) 県民総ぐるみで行う環境美化活動  
「クリーンアップ宮崎」



2-(2) 環境保全に関する普及啓発イベント  
「みやざきエコフェスティバル2024」

## VI 環境と調和した地域・社会づくり

県内各地域で、恵まれた自然環境を生かした農林水産業やグリーン・ツーリズム、地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入などにより「地域循環共生圏」が形成され、環境保全と経済活動がともに活発に行われている宮崎県を目指して、施策を展開した。

### 1 環境にやさしい地域・産業づくり

#### (1) 魅力ある農山漁村等づくり

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 自然保護推進員の募集や、野生動植物保護監視員の設置及び育成、市町村等が行う希少な動植物が生息・生育する重要な生息地等の保護活動への支援を実施した。	市町村の保護活動に対する補助 6 件 自然保護推進員 139 人 野生動植物保護監視員 40 人 自然保護総合研修大会開催 重要な生息地保全作業 2 回 [再掲]	生物多様性地域活動等推進事業	自然環境課
② 商品ブランド認証制度を見直すとともに、多様な販路を構築するためのプロモーション活動を支援した。	量販店などのフェアやイベントでのPR活動のプロモーション実施回数：52回	信頼と情熱を未来につなぐ新たなブランド対策推進事業	農業流通ブランド課
③ 農業・農村の有する多面的機能の維持・發揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進した。	県内組織：425組織	多面的機能支払制度	農村整備課
④ 農村地域への小水力発電施設等の導入を促進し、低炭素・循環型社会の実現と過疎化・高齢化の進む農村地域の活性化を図った。	小水力発電施設整備：0 件 (調整中 1 件) [再掲]	県単小水力発電等農村地域導入支援事業	
⑤ 農業集落排水施設の耐震化等の施設の強靭化、新技術導入等による施設の高度化を図った。	農業集落排水施設整備：4 地区	農業集落排水事業	漁業管理課
⑥ 漢場・干潟・サンゴ礁等のモニタリングや漁場保全の取組に対して支援した。	漢場・干潟等保全活動取組組織：11組織 [再掲]	資源管理イオベーション事業のうち水産多面的機能の発揮	
⑦ 漁業環境の向上を図るため、環境漁業集落排水施設の整備を推進した。	工事実施箇所：2 地区（継続事業）	漁村整備事業	漁港漁場整備室

#### (2) 健全な水循環の確保

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 水資源の開発、保全利用等に関する施策推進のための基礎資料の集積を図ることを目的に、ダム等水資源開発施設調査や河川水供給可能量調査等を実施した。	水道用水需要量調査他 22 調査を実施（調査対象：県、26市町村）	全国水需給動態調査事業	中山間・地域政策課
② 次代を担う中学生を対象に、水の重要性等について作文を募集する「水の作文コンクール」を実施し、水資源が有限であることや水資源開発の重要性について理解・関心を高めた。	ポスター配布 約470箇所 県の広報ツール（テレビ、ラジオ、県政けいじばん、県HP）を活用した周知 県応募総数 379編 (応募学校数 8 校) 【受賞者】最優秀 1 人 優秀 2 人 入選 7 人	水資源対策推進事業	
③ 公益上重要な森林を対象に、広葉樹造林や伐採後の速やかな再造林を進めることで、公益的機能の高い森林づくりを行った。	広葉樹の植栽：8 ha 速やかな再造林：905ha [再掲]	水を貯え、災害に強い森林づくり事業	森林経営課

(3) 環境とともに歩む循環型農林水産業の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 森林・林業に関する技術及び知識の普及指導や、市町村森林整備計画の作成及びその達成に必要な技術的援助を行った。	林業普及指導員：34人	林業普及指導費	
② ドローンによるレーザ計測を用いた森林調査やクラウド型ドローン測量サービスを活用した施業管理の実証を行った。	調査面積：19.44ha	ドローンによる森林調査等実証事業	再造林推進室
③ 森林経営管理制度を推進するため、みやざき森林経営管理支援センターを設置・運営し、中心的役割を担う市町村に対して支援を行った。	意向調査実施面積 17.527ha (R7.3末) [再掲]	森林経営管理市町村支援強化事業	
④ 民有林の森林資源状況を的確に把握するための情報整備等を行った。	デジタル正射画像整備：耳川計画区 地域森林資源調査：広渡川計画区 [再掲]	地域森林資源情報整備事業	
⑤ 植栽、下刈り、除間伐等を支援し、適切な森林管理を行うことによって、森の多面的機能の発揮に寄与した。	造林：1,843ha 下刈り：9,425ha 除間伐：1,254ha [再掲]	森林整備事業	
⑥ 効率的な森林の整備・保全や森林資源の有効活用、山村地域の生活環境等の改善を図るために、林道等を効率的に連絡させ、低コスト林業と山村地域の発展に寄与する森林路網ネットワークを整備した。	林道開設延長：3.1Km 森林作業道延長：31.3Km	○地方創生道整備推進交付金事業 ○森林環境保全整備事業 ○林道点検診断・保全整備事業 ○山のみち地域づくり交付金事業 ○県単林道事業	
⑦ 伐採・搬出作業で使用した機械を地拵えなどの造林作業に活用し、伐採と造林が連携した施業により低コスト化を図った。	伐採と造林の連携による再造林：3.29ha、2森林組合 [再掲]	伐採と造林の連携による再造林推進事業	
⑧ 素材生産事業体による再造林への参入を促進することにより、新たな造林担い手の育成を図り、伐採後の速やかな再造林を推進した。	地拵え植栽：76ha [再掲]	素材生産事業体による再造林推進モデル事業	森林経営課
⑨ 林業経営の集約化に資する路網整備を支援した。	林業専用道：2.6km	持続的林業推進路網整備事業	
⑩ 森林施業を集約化し、境界確認の促進を支援した。	森林境界の明確化 日南市：350ha 串間市：450ha	森林整備地域活動支援交付金事業	
⑪ 自家採穂園等のDNA解析、コンテナ苗生産施設の整備支援等により、品種が明確で、花粉の少ない優良苗木の安定した需給調整体制を確立した。	県採穂園及び採種園の維持管理：8.54ha、自家採穂園の現況調査、DNA解析：8箇所894本 ほか [再掲]	「品種の明確な優良苗木」生産拡大事業	
⑫ 成長に優れた優良苗木の安定供給を図るため、生産技術研修会の開催及び生産施設整備や穂木確保、試験的生産の支援等により、コンテナ苗の生産拡大を推進した。	簡易なコンテナ苗生産施設等の整備：12事業体、穂木確保への支援：16事業体、試験的生産への支援：16事業体ほか [再掲]	成長に優れたコンテナ苗供給体制整備事業	
⑬ 河川等に流出して災害に繋がるおそれがあり、再造林の支障となる短尺材・枝条等の林地残材を收集運搬し、持続可能な木質バイオマス資源として有効活用する取組を支援した。	地域協議会への支援 6協議会 [再掲]	流木抑制等バイオマス活用促進事業	
⑭ 「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の研修修了者への支援を行うことで就業者の定着と育成を図った。	事業体の支援 38事業体、73人	森林の仕事就業定着促進事業	
⑮ 意欲と能力のある林業経営者として登録した「ひなたのチカラ林業経営者」について、造林保育作業への新規参入を支援することなどにより、再造林を担う事業体を育成するとともに、人材の確保を図った。	事業体の支援 8事業体 [再掲]	ひなたのチカラ林業担い手確保育成推進事業	

⑯ 新たに造林事業を開始又は拡大する事業体に対して、資機材整備などを支援するとともに、人材の確保を図った。	事業体の支援 13事業体 [再掲]	再造林を担う新たな「ひなたのチカラ」確保事業	
持続的な林業生産活動を推進するため、高性能林業機械等の導入や、山土場⑰ の整備など林業の生産性向上に資する施設整備及び山村地域の環境条件の改善に必要な施設整備等を支援した。	高性能林業機械： 1件 [再掲]	合板・製材・集成材国際競争力強化総合対策事業	
外材や他県産材に対抗できる木材の供給体制を確立し、森林資源の循環利用⑯ を推進するため、木材加工流通施設や森林バイオマス等活用施設及び特用林産振興施設等の整備を支援した。	木材加工流通施設： 7件 [再掲]	木材産業構造改革事業 合板・製材・集成材国際競争力強化総合対策事業	
木材の生産及び流通の合理化を促進し木材供給の円滑化を図るため、木材の⑯ 生産又は流通を担う事業者に対し、その行う事業の合理化を推進するために必要な資金を低利で融資した。	融資実績： 14者 14件 [再掲]	木材産業等高度化推進資金	山村・木材振興課
素材生産・引取、製材、乾燥材生産等を営む事業者に対して、事業の改善等⑳ を図るために必要な運転資金を低利で融資した。（県単融資制度）	融資実績： 18者 21件 [再掲]	木材産業振興対策資金	
持続的な森林経営と原木の安定供給体制の強化や原木市等における業務の効率化を図るため、モデル的行う山元土場から原木市場等までのデジタル情報⑰ のネットワーク構築に係る経費を支援した。	原木管理クラウドの実装に向けたシステムを開発、検証 [再掲]	原木流通情報デジタル化推進モデル事業	
林業・木材産業経営の改善、林業労働に係る災害防止、林業後継者の養成確保を図るための機械・施設の導入及び技術の習得に必要な経費に対し、無利息で融資した。 ⑫	事業体への資金貸付 4事業体	林業・木材産業改善資金	
林業後継者で組織する「林業研究グループ」やみやざき森林・林業女性の会⑬ 「ひなたもりこ」の活動を支援した。	林業研究グループ 29グループ 452人 ひなたもりこ 87人	林業研究グループ育成支援事業	
新規就業者を対象とした即戦力となる人材の育成や、高度な知識や技能を有した技能者の育成を行った。 ⑭	研修受講： 697人 [再掲]	「みやざき林業大学校」担い手育成総合研修事業	
林業DXを担う人材を育成するためのプログラム作成・実証等を行った。 ⑮	プログラム作成： 2項目 研修受講： 36人	林業DX人材育成プログラム作成モデル事業	
減化学肥料・農薬、温室効果ガス削減技術の実証、宮崎方式ICM指標の拡充を推進した。 ⑯	実証試験の実施： 4地区 (減化学肥料・農薬技術の実証) [再掲]		
宮崎方式ICM技術、温室効果ガス削減技術の指導体制の整備、農薬の適正使用に向けた取組支援を実施した。 ⑰	残留農薬分析の実施件数： 1,077件 [再掲]	持続可能なみやざきグリーン農業構築事業	
有機農業の取組、技術指導者育成及び推進体制の構築を支援した。 ⑱	有機農業を推進する取組： 5市町 技術指導者の育成： 3人 有機転換支援： 100.4ha 有機JAS認証関連支援： 5件 有機産地づくりのための資機材導入支援： 4件 [再掲]	持続可能なみやざきグリーン農業構築事業 みやざき有機農業拡大加速化事業	農業普及技術課
土壤診断に基づく適正施肥や適正かん水を基本に生物農薬等の活用など総合的作物管理「宮崎方式ICM」や有機農業など持続的農業を推進した。 ⑲	ICM指標の作成： 12品目	宮崎方式ICM、有機農業の推進	
環境に調和した農業生産活動を推進するため、農業用廃棄プラスチックの適正処理・リサイクルの啓発やプラスチック殻の流出防止対策を行うとともに、地域の実情に合わせた地域主体の排出体制の支援を行った。 ⑳	廃プラ適正処理に係る検討会の開催： 2回	農業用廃プラスチック適正処理推進事業	
脱炭素新技術の検証や、省エネルギー機器設備・資材の導入支援を行った。 ㉑	化石燃料を使用しない機器の検討等を行う協議会の設立 補助件数： 1件 (技術実証等への支援)	脱炭素をめざす省エネ型施設園芸設備導入推進事業	
産地再生ビジョンを策定するとともに、有機栽培や設備の長寿命化などビジョンの具現化に必要な取組への支援を行った。 ㉒	支援実績： 7件	持続可能な茶生産をめざす産地再生支援事業	農産園芸課

(33) 農村地域への小水力発電施設等の導入を促進し、低炭素・循環型社会の実現と過疎化・高齢化の進む農村地域の活性化を図った。	小水力発電施設整備：0件 (調整中1件) [再掲]	県単小水力発電等農村地域導入支援事業	農村整備課
(34) 人工種苗やE.P飼料への転換を実証する取組や、藻類・貝類養殖の導入・定着を支援した。	人工種苗への転換：3件 E.P飼料への転換：3件 藻類・貝類養殖の生産拡大：6件 [再掲]	養殖グリーン成長戦略推進事業	水産政策課
(35) 畜ふん燃焼や耕種部門との連携など家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や、堆肥広域流通の支援、家畜排せつ物の適正処理の支援を行った。	補助事業：2件 堆肥の広域流通支援：1件 家畜排せつ物適正処理支援：18件 [再掲]	未来につなぐ畜産バイオマス利用支援事業	畜産振興課

#### (4) 本県の地域特性を活かした体験・交流型観光の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
中山間地域ならではの魅力ある体験型観光「農泊」を推進するため、農泊サービス向上を図る県域ネットワーク会議、研修会等を実施した。 ① イトの拡充やインバウンド向け海外プロモーション、及び農泊事業者のサービス向上を図る県域ネットワーク会議、研修会等を実施した。	農泊サイト 1式 農泊ツアーコース 1式 農泊研修会 1回 農泊ネットワーク会議 2回	みやざきの持続可能な農山村づくり支援事業のうち農泊ビジネス創造事業	農政企画課

#### (5) 環境ビジネスの創出・育成

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 資源の循環的利用を目的として、再資源化施設を整備する排出事業者や処理業者に対し支援を行った。	補助件数：5件 [再掲]	産業廃棄物リサイクル転換支援事業	
（社）宮崎県産業資源循環協会が実施する優良産廃処理業者認定取得に向けた取組などを支援し、環境産業の一翼を担う産業廃棄物処理業の持続的な発展を促した。 ②	産廃関係講習会等受講者：19人 産廃関係検定受験：14人 優良認定相談窓口の設置（循環協会内） 優良認定取得支援アドバイザー派遣：5回 [再掲]	優良産業廃棄物処理業育成支援事業	循環社会推進課
③ 産学官グループ等による環境リサイクル関連の技術開発を支援するとともに、開発した製品の販路開拓を支援した。	県内の産学官共同研究グループ等による9件の研究開発を採択し（新規4件、継続5件）、支援を行った。 [再掲]	環境イノベーション支援事業	企業振興課
④ 化学肥料・科学合成農薬を低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全等に高い営農活動を支援した。	支援実績：23団体	環境保全型農業直接支払交付金	農業普及技術課
⑤ 農村地域への小水力発電施設等の導入を促進し、低炭素・循環型社会の実現と過疎化・高齢化の進む農村地域の活性化を図った。	小水力発電施設整備：0件 (調整中1件) [再掲]	県単小水力発電等農村地域導入支援事業	農村整備課

## 2 快適な生活空間の創出

#### (1) うるおいとやすらぎある美しい景観・環境づくり

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
① 先人から受け継いだ名木等の緑の文化財や県木フェニックスを病害虫等から保護・保全するために被害防止対策を行った。	名木等：9本 県木フェニックスの薬剤防除：12本 [再掲]	名木等保全支援事業	自然環境課
② 農業・農村の有する多面的機能の維持・發揮を図るために地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進した。	県内組織：425組織 [再掲]	多面的機能支払制度	農村整備課

③ 主要な国県道の沿道において、樹木その他の植栽を保護するとともに、花木類の植栽等を行うことにより郷土の美化を推進し、宮崎らしい「うるおい」と「やすらぎ」のある道路環境の保全に努めた。	11事務所で沿道修景の取組を実施【再掲】	沿道修景美化推進対策事業	道路保全課
④ 市街地等において、電線共同溝の整備により無電柱化を実施することで、歩行者等の安全性・快適性を確保するとともに、良好な景観形成を推進した。	6路線8工区で無電柱化事業を実施	無電柱化推進計画事業補助	
⑤ 良好的な河川環境や景観の保全を図るため、地域住民等が行う河川堤防の草刈りを支援した。	参加団体：742団体	河川パートナーシップ事業	河川課
⑥ 景観形成に取り組む民間団体や個人等に対して資金面及び技術面からの支援を行い、将来的な県民の自主的な活動の確立を目指すとともに美しい宮崎づくりの普及促進を図った。	景観形成活動団体への市町村を通じた補助：18件 景観まちづくりアドバイザーの派遣：3回 「美しい宮崎づくり」のつどい開催：参加521人 美しい宮崎づくり知事表彰：9つの団体と個人を表彰	みんなで取り組む「美しい宮崎づくり」推進事業	美しい宮崎づくり推進室
⑦ 風致を維持し、公衆に対する危害を防止するとともに、良好な景観形成を図るため、屋外広告物に係る許可及び監視を実施した。	違反広告是正件数：275件	住みよいふるさと広告景観づくり事業	
⑧ 老朽化した公園施設の更新や都市公園等の効率的な維持管理を行うことにより、公共の福祉の増進や都市環境の保全を図った。	指定管理者制度導入施設：6施設	公共都市公園事業 県単都市公園整備事業 都市公園管理費	

#### (2) 本県の自然と一体となった歴史的・文化的資源の保存・活用

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
ホームページ「みやざきデジタルミュージアム」や「みやざき文化財情報」 ① により、指定文化財や神楽の動画、博物館・美術館等の所蔵資料の情報を提供した。	情報掲載：399件	デジタルミュージアム構築事業	
県内の文化財について、指定や保護に関わる調査を行い、文化財の保護・継承を推進した。 ②	国指定特別天然記念物「カモシカ」通常調査の実施 県指定天然記念物「アカウミガメ及びその産卵地」に関する産卵状況調査の実施	指定文化財管理実態調査 アカウミガメ保護啓発事業 カモシカ調査（通常調査）	文化財課

#### (3) 環境と調和した生活空間づくり

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係所属
県ホームページ内の住情報提供ネットワーク「みやざき住まいの安心情報バングル」により、省エネルギー住宅や県産材を活用した木造住宅等の環境にやさしい住宅について情報提供を行った。 ①	アクセス件数：702件 【再掲】	住情報提供事業	建築住宅課

【環境指標】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7			
GAP認証取得経営体数（延べ数）	経営体	178	374	402	410	417		400	104.3%	-
農林漁業体験民宿数(累計)	軒	192	177	178	164	176		210	83.8%	232
市街地における幹線道路の無電柱化率(累計)	%	3.9	3.9	4.3	4.3	4.3		5.5	78.2%	6.2
都市公園面積(都市計画区域人口1人当たり)	m <sup>2</sup> /人	21.0 [H30]	20.3 [R02]	20.8 [R03]	20.9 [R04]	20.7 [R05]		21.0	100.0%	21.1



1-(1) 干渉の保全活動



1-(4) 農泊サイトリニューアル



2-(1) 国県道における植栽管理



2-(1) ボランティア活動による  
国県道の植栽管理



2-(1) 第8回「美しい宮崎づくり」のつどい



2-(2)県指定天然記念物  
「アカウミガメ及びその産卵地」